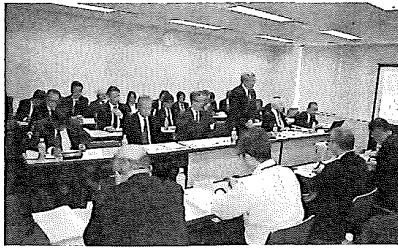


## 建コン九州支部と熊本県 意見交換

# 表彰制度の拡充など求める

建設コンサルタンツ協会九州支部（福島宏治支部長）は22日、熊本県と意見交換会を実施した。議題は「労働環境の改善」「業務成績評価制度」「総合評価落札方式」など。協会は、成績評定制度和表彰制度の実施に謝意を示したうえで、指名業者選定時の活用や表彰制度の拡充を要望した。



県庁であり、協会から  
福島支部長、秋葉努副支  
部長、支部理事、地元会  
員9社の技術者ら20人、

県土木部から平井宏英政  
策審議監、藤本正浩主席  
審議員兼監理課長、田尻  
雅裕土木技術管理課長ら  
12人が出席した。会議は  
非公開。  
協会によると、県が4  
月から共通仕様書にリン  
デーレスポンスに努める  
旨の条文を追加したこと  
を、「業務がスムーズに進  
み納期の平準化にも繋が  
る」と感謝し、ウイークリ  
ースタンスについても前  
向きな検討を求めた。

業務成績評定制度は、  
会員への調査で評定がほ  
ぼ正規分布になってお  
り、「かなり習熟してい  
る」と高く評価。技術者  
のモチベーションも向上  
するとして、技術者表彰  
の新設や表彰件数の拡大  
を求めた。県は検討する  
姿勢を示したという。  
総合評価の対象は現  
在、県外コンサル業者の  
指名競争のみ。協会は  
「県内業者はいつまで経  
っても価格競争だけ」と

話し、対象業務を拡大す  
るよう要望した。  
県と大規模災害  
時支援協定締結  
冒頭挨拶で福島支部長  
は、九州支部と熊本県と  
で「大規模災害時の支援  
活動に関する協定書」を  
7月31日に締結したこと  
を明らかにした。九州沖  
縄各県3政令市では熊本  
市、北九州市に次いで3  
番目。この自治体も県測  
協や建設業協会等と協定  
を結んでいるので、通常  
の災害はまず地元業者。  
地元で対応できない大規  
模・特殊な災害は建コン  
が依頼を受けるというス  
タンスだ」と説明する。